



オリーブ通信

2014年
10月号
2014.10.25発行
第156号



<http://www.ne.ip/asahi/olive/kusatsu>

市民ふれあい秋まつり in くさつ

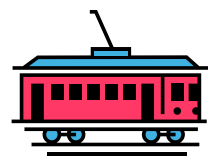
10月18日(土)10:00~16:00まで草津市役所で“市民ふれあい秋まつり in くさつ”が開催されました。文化・芸術、福祉や町づくりなど、幅広い分野で活躍する団体の活動にふれる参加型イベントです。会場には、体験コーナー、展示コーナー、ステージ発表、模擬店などがあり、たくさんの方が来られ賑わっていました。オリーブも展示コーナーにブースを設置し、パネル展示やパソコンのスライドショーなどで日頃の活動を紹介しました。足を止めてパネルをじっくり読んでくださる方もおられ、少しはオリーブの名前を知ってくださる方が増えたかな？参加して感じたことは、いろいろな分野の市民・福祉・ボランティア団体の活動にふれることができよかったですと、分野は違うけれど、みなさん生き生きと活動されている姿を見て、“私も負けていられない”とよい刺激をいただきました。これからもオリーブで生き生きと。ブラジル風牛串焼きやお菓子の差し入れありがとうございました。模擬店でお腹も大満足！



(レポート：杉山美子)

中川先生のへんてこ日本語 51

間もなくすると電車が揺れます



最近電車が遅れて困ることが多いが、その遅れる理由をはっきりアナウンスするのが通例となっている。「人身事故のため」とか「線路内に人が立ち入った」とか。あのアナウンスで、むしろお客さんは安心するらしい。

JRの車内で、「間もなくすると電車が揺れます」というアナウンスを聞いて、思わず吊皮をギュッと握りしめた。線路のポイント切り替えの都合などで、電車が左右に揺れるので注意してほしいことを知らせたかったのだろうが、これではかえって心配になってしまふ。通常は「電車が左右に揺れます」などと言っているように思うが、人間の心理というのは、予告があれば安心できようだ。予告もなく揺れると、車掌さんや駅員さんに詰め寄るといふ結果にならないと限らない。大阪市内の地下鉄で、「大きく左右に揺れます」といふのを聞いたことがあるが、誰も文句は言わない。

それにしても、「左右に」があるのとないのでは、揺れに対する構えが異なってくる。天気予報では。ただ「今日は暑くなります」と言われるよりも、「今日は35度以上の猛暑になるでしょう」と言われたほうが、覚悟ができるのではないだろうか。「電車は遅れています」よりも「電車は30分遅れています」のほうが落ち着くのはなぜだろう。

先日、授業を欠席した学生が「熱が出て・・・」と言ってきたので、「どのくらいの熱なのか」と聞いたら、「起きられないくらいです」と言うので、それよりも「39度の熱が出ました」などと言ったほうが、熱の具合がよく分かるのではないかと学生に言っていた。

日本人の会話パターンに、「どこ行きですか」「ちよつとそこまで」「そうですか、お気をつけて」といった「はっきり言わない美学」が存在するが、はっきり具体的に言ったほうがいい美学もあるようだ。

人間の心理は、ごまかされるよりは、はっきり理由を述べたほうが落ち着くことができるようだ。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

日本語教師として台湾に暮らして

台湾で日本語教師として暮らしていた宇野さんに日本語教師体験談を書いていただきました。これから海外で日本語教師をやろうと思ってる方々の参考になればと思います。



宇野です。

知っている方も多いと思いますが、台湾で10年日本語教師をしていました。

最近では、海外で日本語教師を目指す人も多いそうです。ひょっとしたら、

オリーブにもそういう人がいるかもしれません。そこで、海外の日本語教師のいいところと悪いところを書いてみようと思います。



いいところ



毎日楽しい

授業を通じて、毎日たくさんの生徒と知り合えるのはもちろんですが、生徒は授業が終わってからも誘ってくれます。毎日現地人と一緒に、外国の生活を楽しむことができます。もちろん、生活するとなると、旅行では体験できないようなディープな体験もできます。

特に、台湾は親切な人が多いので、楽しく暮らせると思います。

外国に住むのが簡単

基本的に、外国で仕事を見つけるのは難しいです。必ず現地の言葉が必要です。日本で仕事を探すなら日本語が、アメリカで仕事を探すなら英語が必要です。

しかし、数少ない例外が語学教師です。学校にもよりますが、基本的に母国語だけで教えることができます。

日本語しかできなくても、世界のどこでも仕事が見つかる珍しい職業が日本語教師です。ただ、現地の言葉ができなければ、日常生活で困りますが。



悪いところ

給料が少ない

これも学校によりますが、現地でもぎりぎり生活できるかどうか、という給料のところが多いです。ただ、空き時間が多いので、副業をしている先生が多くいました。

つぶしが効かない

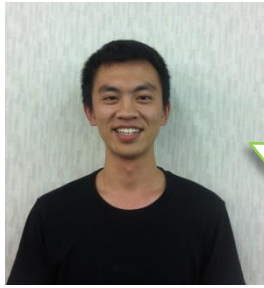
これが最大の問題ではないかと思います。日本国内では、日本語教師で食べていける人はほんの一握りです。帰国即失業もしくは貧困の始まりです。かと言って、履歴書に海外の日本語教師経験を書いても、評価してくれる一般企業はまずありません。求人広告を見ても、「製造業経験者」、「SE 経験者」などという条件はあっても、「語学教師経験者」という条件はまずありません。

つまり、海外で日本語教師になるという選択は、(ごく短期は別として) 日本社会をドロップアウトするというのとはほぼ同じ意味です。行くことは簡単ですが、帰ってくるのは非常に困難です。移住先に骨を埋めるつもりならそれでもいいですが、日本で安定した生活を考えているのなら、よく考えたほうがいいと思います。

以上、僕の少ない経験のみに基づいた意見なので、あくまで軽い参考として聞いてください。

(宇野幸一)

オリーブ学習者の紹介



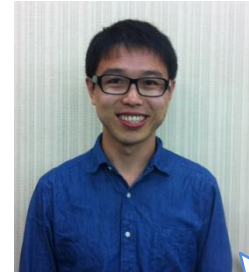
(洪維坤さん)

私は洪維坤と申します。中国の福建省から来て、1年目です。オリーブに来る前には土曜日の夜、いつも家で何か別にしなかったんです。実は私は他の外国人と同じですが日本語が上手になりたいんです。なので、自由な時間何もしないのは無理です。その時私はそう思っていました。しかしどうすればいいかわかりませんでした。ある日、友達の莫さんはオリーブ日本語教室を推薦してくれました。本当にうれしかったですから、期待の気持ちがしましてオリーブ教室に来ました。オリーブで先生とか学生たちとか皆さんが熱心ですし、よく面倒を見てくれるし素晴らしいところだと思っています。ここに来るのをきっかけにして私の日本生活も面白くなります。今の私、オリーブの皆さんのおかげで日本語が上手になる自信を持っています。そしてこれからも皆さんと一緒に目標のところへ歩き迎えるよう頑張ります。



(ズンさん、メンさん、ロアンさん、ランさん)

私たちはベトナムから来ました。縫製の仕事をしています。もうすぐ1年になります。先生は熱心だし親切だし日本語の勉強を頑張りたいです。



きんうんほう
(斬雲鵬さん)



私はキンと申しますが、去年の9月中国の江蘇省から来ました。24歳の会社員でございます。私の最大の趣味は映画で、ほかにはテニス、サッカー、ビリヤードにも興味を持っています。一番好きな映画は「Sidiols」といい、試験教育を批判する映画です、ですので好きなんです。最近の願いは日本語が上手になりたい。将来、時間があれば日本の美しい場所へ旅行したい、いろいろ美味しい物を食べに行こうと思っています。



ごほんほう
(呉攀峰さん)

こんにちは。呉と申します。27歳です。7月に中国から参りました。今、ソフトウェアを開発しております。オリーブに入ってから1か月くらいです。この間、優しい先生と出会ってたくさん友達を作りました。日本語の勉強だけでなく、いろんな事を教えてもらってすごく楽しかったです。これからも日本語の勉強は楽しみに続きます。以上、よろしくお願ひします。何かまちがったところがあれば、ご指摘お願いします。



子どもくらぶ「たんぽぽ」15周年シンポジウムに参加して ④

5月24日(土) 草津支援センターにて

『それぞれの支援』

レポート 小春 京子



シンポジウムは、約20名の参加でした。たんぽぽのスタッフさん、卒業生、甲賀市の人権課の方、甲賀市の子どもたちへの母語支援員さん、同じような活動をされている方などが参加されていました。

それぞれの活動を紹介します。

《甲賀湖南人権センター》 2010年より、外国籍の子どもを対象に勉強のサポートをする。2011年、夏休みに1回/週、勉強会を開く。その後、毎週土曜日に母語支援をするに至る。2014年春には、参加する子どもの数がピークになった。

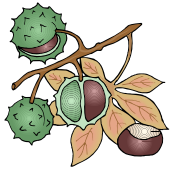
《母語支援員》 甲賀市では、外国籍児童生徒に対して各小中学校に配置される日本語指導員とは別に、子どもたちの母語のできる母語支援員さん(主にポルトガル語、スペイン語)が各小中学校を巡回している。子どもたちの悩みや話を聞いたり、学校の配布物の説明をしたり等のサポートをしている。仕事で子どもをかまえない親が多く子どもたちは寂しい思いをしている。

《たんぽぽ》 日本語指導対象者は今は殆どいない。雰囲気は勉強モード。ポルトガル語の勉強もしている。たんぽぽと出会ったことをきっかけに転職したスタッフがいる。通信教育で教員免許を取り、沖縄の小学校の先生になった人、子どもと関わる中で腹の立つことがあって弁護士になった人など、たんぽぽは人の人生をも変える場所なのだとつくづく感じた。毎週木曜日の16:30~19:00、草津コミュニティ支援センターにて活動。問い合わせは、tampopo@digibo.tv まで。 (完)



先月の活動(9月)

日本語教室 9/6 (M),20,27(3回)
 まちセン運営協議会施設部会 9/19(金)(田中一)
 BNN 指導者養成講座 9/14 (日) (佐野)



●日本語教室の(M)は定例ミーティング



今月の活動予定(10月)

日本語教室 10/4 (M),18,25
 まちセン協議会全会 10/15(水)(田中一)
 まちセン運営協議会全体会議 10/21(火)(田中一)
 市民ふれあい秋まつり in くさつ準備 10/16 (金)
 (中西, 小島, 張, 重松, 恩地)
 市民ふれあい秋まつり in くさつ 10/17(土)
 (杉山, 恩地, 川瀬, 重松)

●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



お知らせ

オリーブ秋の遠足



11月16日(日)伏見桃山に決定!!!
 酒蔵巡り、十石船、カッパミュージアム、伏見稲荷など。後は
 当日晴れることを祈るのみ!

先生心得・・・オリーブを休むとき

生徒が決まったら、連絡先を交換してください。現在先生の数
 が不足気味です。休む時は、他の先生の都合がつかないことも
 あります。生徒に連絡して生徒にも休んでもらうことも考えて
 みてください。また、入会班には必ず連絡してください。

参加人数(9月)

	9/6	9/20	9/27
先生	18人	19人	18人
生徒	14人	29人	25人

会員の動き(9月)

〈入会〉後藤美子
 〈退会・休会〉なし
 〈賛助会員〉なし



ごとうよしこ
 (後藤美子さん)

10月からオリーブに入りました後藤 美子です。今年の4月からまちづくり
 センターで働いています。恩地さんに誘っていただき、オリーブ20周年記念
 イベントのスタッフをしたことが皆さんとの出会いとなりました。オリーブ
 の日には、主に受付や備品整理などをしてゆこうと思っています。休日は散
 歩をしたり映画を見たり、本を読んだりしています。星新一さんという小説
 家の本が好きです。外国の作家さんでは、アレックス・シアラーさんの「青
 空の向こう(The Great Blue Yonder)」が好きです。仕事の関係で行けない
 日も多いと思いますが、よろしくお願いいたします。

<編集後記>

「パルヨン」って聞いたことがありますか？おそらく99.9%の人は知らないでしょう。先日、京都国際交流協会で行われた「パルヨン」の集まりに参加してきました。これはフィンランド語で「たくさん」を意味するそうです。1989年に1人のフィンランド人女性が作りました。異国の地すなわち日本(特に京都)に住むことになった外国人女性をサポートする会です。サポーターは日本人女性や日本に長く住んでいる外国人女性です。私たちの周りに、もし困ってる女性、友達を欲しがってる女性がいたらこの「パルヨン」の事を教えてあげてはいかがでしょう。インターネットで検索すればすぐ出てきますよ。さて最近の教室はけっこうにぎわってますよ。右の写真は10月のある日の教室風景です。活気のある教室というのはいいいものですね。

(S.E)

